

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2012年7月から2019年3月までに抗凝固薬を内服中で、胃上皮性腫瘍に対し、ESDを行った患者さま			
②研究課題名	直接経口抗凝固薬が胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術の後出血に寄与する影響			
③実施予定期間	承認日 ~ 2020年3月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	滝沢耕平	所属	静岡がんセンター 内視鏡科
⑥当院の研究代表者	氏名	滝沢耕平	所属	静岡がんセンター 内視鏡科
⑦使用する検体・データ	電子カルテ情報			
⑧目的	近年、我が国では高齢化が進み、高齢胃がん患者遭遇する診療機会も増え、抗血栓療法を受けている患者に対する内視鏡治療を行う機会も増加しています。胃の内視鏡的粘膜下層剥離術(Endoscopic Submucosal Dissection: ESD)は出血高危険度の処置に分類されており、合併症の一つである後出血率は約4-5%と報告されています。抗血栓療法中では後出血率が約20-35%上昇し、内視鏡治療における課題の一つとなっています。2012年に内視鏡学会から「抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン」が発表されましたが、ガイドライン作成時には少数であった直接抗凝固薬(Direct Oral Anticoagulants: DOAC)が次々と上場されたことを受け、2017年には「直接経口抗凝固薬(DOAC)を含めた抗凝固薬に関する追補2017」が発表されました。DOACが内視鏡処置に及ぼす影響の報告は未だ少なく、不透明な点が多いです。そこで我々はDOACが胃のESDの後出血に及ぼす影響を明らかにすることを目的としてこの研究を行います。			
⑨方法	当院で2012年7月から2019年3月の期間に抗凝固薬を内服しており、胃ESDを行った方を電子カルテのデータを用いて解析します。あらたに追加検査を行うことはありません。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年9月11日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利(特許権等)は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222(内線3379)
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。